

## 講演Ⅰ 「脳梗塞により発話困難を経験したセラピストとして伝えたいこと」

関啓子氏 (言語聴覚士 三鷹高次脳機能障害研究所所長／神戸大学大学院保健学研究科客員教授)



私は失語症や半側空間無視 (USN) などの高次脳機能障害のリハビリテーションの臨床・研究・教育を35年にわたって行ってきたセラピスト (言語聴覚士ST) です。言語学を学んでいた大学時代の失語症者との出会いを契機に、STを天職と確信し、精進してきました。2009年7月、神戸大学教員として単身赴任11年目、各方面での活動の絶頂期に勤務地神戸市内で脳梗塞を発症し、後遺症として左片麻痺およびUSN・発話困難をはじめ専門領域としていた多彩な高次脳機能障害が現れました。その後の懸命なリハビリのおかげで、8年後の現時点では利き手の左手麻痺と軽い高次脳機能障害が残っています。今回で2度目となる本講演では、前回よりグレードアップしたスライドで私の脳梗塞を概観した後、最も対応に苦労した発話困難につき、これを経験した当事者としてまたセラピストとして気づいたこと伝えたいことを述べる予定です。

## 体験発表・友の会紹介「東日本大震災を乗り越えて～失語症とともに生きる」

東日本大震災を乗り越えて元気に暮らしている岩手、宮城、福島に在住の3名の失語症のある方が体験発表をします。また震災を機に生まれた被災地岩手県気仙地域の失語症友の会を紹介します。



越田恭輔さん (岩手県大槌町吉里吉里、現在は盛岡市)

インドネシアなどで漁師をしていました。2010年に船の中で脳出血を起こし、右半身麻痺と失語症になりました。リハビリ入院中に大槌町の家が津波で流され、家族を亡くしました。今は盛岡市に住み、言葉のかけ橋に通って言語リハビリに励んでいます。温泉や旅行が大好きです。



黒沢千晶さん (仙台市若林区)

2008年6月に脳梗塞で右半身麻痺と失語症になりました。震災で家は大規模半壊し新しく建て替えました。今は就労支援施設に通い、できるだけ家族以外の人と交流し、お話をする機会を多くしようと思っています。毎日がリハビリです。これからも明るく生活をしていこうと思っています。



坂本一夫さん (福島県浪江町、現在は郡山市)

システムエンジニアの仕事をしていました。2009年4月脳梗塞を起こし、失語症になりました。2011年3月11日の原発事故により県内4ヶ所を避難し、元の浪江町の我が家に帰らず郡山市に新居を建てました。現在は友達も出来て時々コーヒーを飲みに出かけます。(郡山失語症友の会)



気仙失語症友の会 はまりやすべや (大船渡市、陸前高田市、住田町)

震災時に孤立しがちだった失語症者。その失語症者同士の横のつながりを作ろうと交流会が行われ、そこで出会った当事者や家族が中心となり、震災の翌年に『はまりやすべや』は設立されました。以来、年に9回の定例会を開催し親睦を深めています。



友の会ステージ音読劇「水戸黄門 ご老公、みちのく岩手で…？」

盛岡失語症友の会では有志がクリスマス会などでいくつかの音読劇を披露してきました。今回はお馴染みの「水戸黄門」を皆様にお楽しみいただきたいと思います。サプライズもご期待ください。

## 一緒に体操しましょう！



皆様、岩手によろこそ！  
作業療法士の吉田悟志、少林寺拳法五段です。短い時間ですが、元気いっぱい、笑顔で、楽しく身体を動かしましょう！！

## ミニコンサート・一緒に歌いましょう！

全国合唱コンクールでたびたび入賞している盛岡第二高等学校音楽部の歌声をお楽しみいただきます。



また、懐かしい唱歌や復興ソングなどを皆さんと一緒に歌いましょう。